

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和4(2022)年度第2回みよし市行政改革推進委員会		
開催日時	令和4(2022)年9月26日(月)午後1時27分～午後2時30分		
開催場所	市役所6階 601、602会議室		
出席者	(会長) 村松幸廣 (委員) 大橋綾香、久野宗秀、小玉寿仁、鈴木千郷、野々山清、増岡和明、三宅章介、鰐部兼道 ※50音順、敬称略 (みよし市)酒井副市長、今瀬教育長、清水政策推進部長、伊藤政策推進部参事、深谷総務部長、岡田市民協働部長、深津福祉部長、加藤子育て健康部次長、成田環境経済部長、久野都市建設部長、富田教育部長、増岡教育部参事、城議会事務局長、加藤監査委員事務局長、加藤病院事務局長(事務局)海堀政策推進部次長兼企画政策課長、木戸副主幹、加藤副主幹、岡田主事		
次回開催予定日	令和5(2023)年1月頃		
問合せ先	政策推進部企画政策課 担当 木戸、岡田 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス <a href="mailto:kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp">kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp</a>		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
次第	1 あいさつ 2 協議事項 令和4(2022)年度 補助金見直し結果について		
典 礼 海堀課長	御起立ください。一同礼。定刻前ではありますが、皆さんお揃いでありかつ傍聴の申出もございませんので、ただいまから令和4年度第2回行政改革推進委員会を開催します。本日、窪田委員からは事前に欠席の御連絡をいただいておりますのでここで御報告を申し上げます。 始めに、酒井副市長より御挨拶をさせていただきます。		
酒井副市長	改めましてこんにちは。 委員の皆様には、お忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。日頃は、本市の行政運営に対し、それぞれのお立場で格別の御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。 ここのところ週末に台風が上陸しておりますが、幸いにも本市においては特段の被害もございませんでしたことを御報告させていただきます。 今回の補助金の見直しは、前回の委員会で協議していただきました「補助金の見直しに関する基本方針」を基に、市民ニーズや社会情勢等の変化に対応した補助制度となるように進めております。 今後も、社会経済情勢や行政需要に対応した、より効率的な市政の実現を推進するため、さらなる行政改革を推進してまいりたいと思いますので格別の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。		

典 礼 海堀課長	それでは、村松会長から御挨拶をいただきたいと思います。
村松会長	<p>先ほどの副市長の御挨拶にもありまして、台風が週末ごとに到来し悪天候が続いております。経済については、アメリカのインフレ等もありまして日本は円安となっております。円安のメリットデメリットがあり、日本の経済に対する景気不安もございます。</p> <p>いつも申しておりますが、行政改革はお金だけの問題ではありません。歳入の状況もコロナの状況も不透明な状況であり、これらを踏まえて議論を行うことが必要です。</p> <p>台風は過ぎまだ残暑が厳しい状況でございますが、お集まりいただきましてありがとうございます。本日も忌憚のない御意見を皆様からいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
典 礼 海堀課長	それでは、会議の進行につきましては、本委員会設置条例第6条の規定に基づき、会長に議長として議事進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。
村松会長	<p>それでは、会議次第に沿って議事を進めたいと思います。本日の会議は、概ね1時間程度で終了したいと思いますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>はじめに、「令和4（2022）年度補助金見直し結果について」事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>令和4年度補助金等見直し結果について説明させていただきます。</p> <p>資料1-1を御覧ください。</p> <p>補助金見直しについては、4年ごとのスパンで行っており、今年度が見直し年度となります。</p> <p>見直しの際には毎回「基本方針」を策定しており、今年度については5月に開催した行政改革推進委員会においてその内容を決定させていただきました。</p> <p>こちらの資料の「1 補助金等見直しについて」から「3 見直しの基本的な考え方」に基本方針の内容を集約しています。</p> <p>今回の見直しでは、「2 見直しの対象」に記載のとおり、法令等の定めがあり市の裁量の余地がない補助金や、補助金財源の全額について、国や県から補助金を受け実施する補助金などを対象外としております。</p> <p>5月に開催した委員会では対象件数を149件と説明しましたが、見直し作業を行った結果、新たに対象となった補助金が2件、対象から外れた補助金が3件あり、最終的に148件となりました。</p> <p>これまでの見直しは、「4 見直しスケジュール」のとおり実施しました。</p> <p>5月に基本方針を決定、その後各担当課で見直し作業を実施してチェックシートを作成し、各課ヒアリングを行い、今回の資料をまとめました。</p> <p>今後の流れですが、本日御承認いただきました後、その結果に基づいて次年度予算の要求、補助金交付要綱の見直しを行い、令和5年4月からの適用開始を迎える形となります。</p> <p>資料1-1下段「補助金見直し結果総括表」において、見直し結果をまとめています。</p> <p>「①現状通り継続」と判断した補助金は110件でした。こちらは、「一定の成果が上がり、特に問題もないため現状どおり補助を継続することが妥当」と判断したものになります。</p> <p>②以下が今回見直しを行った補助金となります。</p>

複数項目に渡り見直しを行った補助金については下線を引き、重複して掲載した件数を括弧書きでカウントしています。

この中で3つの項目に重複して該当している「15太陽光発電設備整備事業補助金」について、例示で説明させていただきます。

資料1-2の2ページ下から2行目に「15太陽光発電設備整備事業補助金」の見直し内容を掲載しておりますので、合わせて御覧ください。

見直し前は、左から6項目目「交付の内容」に記載のとおり「発電機の新規設置」のみを補助対象とし、その限度額を150万円としていました。

今回見直しを行った結果、一番右側の「見直し内容」の欄に記載のとおり、「公共施設の再生可能エネルギーの積極的導入は市として積極的に推進すべき施策である」ことから、新設の費用を500万円に増額とします。

また、新設から一定の年月が過ぎている機器も増加していることから、「パワーコンディショナーの取替工事」や「修繕工事」についても新たに対象とし、加えて事業推進のため、環境基本計画に即した名称への変更をします。こちらの見直し内容を、資料1-1下段で見いただきますと、②a補助限度額の見直し、④a補助対象事業の見直し、④d名称の見直し の3項目に重複して該当する形となります。

再び資料1-1の総括表の説明に戻ります。

「②補助率(額)、限度額の見直し」をした補助金は16件でした。

そのうち、「a. 補助率や限度額を引き下げることが妥当と判断した補助金」は、12件です。例示として、「2 職員互助会補助金」については、近隣市町村の状況を勘案し補助率を引き下げの見直しを行っています。

「b. 政策的に推進すべき事業であり、引き上げることが妥当と判断した補助金」は4件です。例示として、「8 事務員設置事業補助金」については、行政区事務所の開館時間を延長することが市民サービス向上のため必要と判断し、限度額の引上げをしています。

「③他の事業との整理・統合」とした補助金は6件でした。

こちらは、「他の補助事業と整理や統合を行うことで事業の成果が期待でき、なおかつ事務の効率化や手続の簡素化を図る」ことができると判断したものであり、例示として、1行目の「9ふるさとネットワーク事業補助金」と「16行政区一括交付金」の統合については、行政区と行政の事務効率化及び行政区独自の活動支援を進めるため、統合の見直しをしています。

「④その他内容の見直し」は②③以外の見直しを行ったものであり、15件ありました。

そのうち「a. 補助対象事業・対象経費の見直し」は11件です。例示として、「5防犯カメラ設置費補助金」については、これまで行政区のみを対象としていましたが、地域の防犯意識を高め、犯罪抑止率を高めるため、個人の設置する防犯カメラも補助対象に加えます。

また、「b. 委託事業への切り替え」は「42私立保育園補助金」の1件、「c. 運営費補助から事業費補助への転換」は「146地域スポーツクラブ運営補助金」の1件、「d. 名称の変更」は「15太陽光発電設備整備事業補助金」「139スポーツ団体事業補助金」の2件で見直しを行いました。

「⑤廃止・完了」した補助金は6件でした。

このうち、「a. 補助目的の意義が低下又は完了したと判断したもの」は、3件でした。

また、「b. 市の実予算で対応が可能であると判断したもの」は、3件でした。

それぞれの補助金等の見直し結果内容の詳細については、資料1-2「補助金見直し結果まとめ」に掲載しておりますので御覧いただければと思います。

	以上、説明とさせていただきます。
村松会長	ありがとうございました。 ただいま事務局から具体的に説明いただきましたので、これから質疑応答に入ります。委員の皆様、何か御意見御質問はありますか。
久野委員	「ふるさとネットワーク事業補助金」と「行政区一括交付金」を統合されるという説明でしたが、統合する際には「ふるさとネットワーク事業補助金」の相当額を「行政区一括交付金」に増額されるのでしょうか。
岡田市民協働社部長	「ふるさとネットワーク事業補助金」の限度額は5万円ですので、見直し後においては、「行政区一括交付金」に5万円を追加し増額する形で進めていきたいと現時点では考えております。
村松会長	ありがとうございます。何か他に御質問はございますか。
小玉委員	村松会長からの挨拶にもありましたが、現在円安が続いており、恐らく今後も当面続くのだらうと考えられる中、話題になっているのは製造業の国内回帰です。国力を蓄える等、産業を推進していくことが重要だと思われませんが、産業を誘致する上での補助金等、何か議論はありますでしょうか。 また、人手不足が大変悩ましい問題となっておりますが、その辺りへのサポートはありますでしょうか。 もう1点は市民という面です。我々自動車産業従事者のうち9,000名ほどがみよし市に住んでいます。そのような中、この町に住みたいと思うポイント「クオリティオブライフ」の原点は「子供の教育」だと考えます。教育の水準の高さが、転入する上でのポイントになるようですが、教育の分野で、補助金の面で何か議論があるのかどうかも知りたいです。 この2点を御教示ください。
成田環境経済部長	工場等の誘致については、「工場等立地促進奨励金制度」を設けており、その制度の中で様々な支援をしている状況です。
小玉委員	製造業はなかなか働き手が少なく、人気のない業種であり、世界的に見ると日本とインドは製造業従事者の比率が高い状況ですが、欧米各国先進国では製造業離れが起こっています。 我々としても製造業の魅力をどんどん伝えていきたいと思う一方で、みよし市でもその製造業に携わる人や働きたい人を引き込む、若い人を引きつけるような施策ができないかなと思っており、その辺りでぜひ一緒に取り組めないかなと考えております。
成田環境経済部長	優秀な人材の確保については、国、県、各自治体が一体になって、首都圏から人材を確保するためのUターンやIターン等の事業者の取組に対する補助金制度を設けています。 本市においてはまだ活用はされておませんが、優秀な人材を首都圏の方から引き込む施策については今検討中です。
増岡教育部参事	教育のことについての質問に対し、お答えいたします。 本市の教育水準についてという御質問でしたが、私がお他市に勤めていた際にもみよし市の良い評判を聞くことができました。具体的な例として、教育環境整備が他の市町村よりも随分進んでいるのが、本市の特徴ではないかと考えています。 例えば、いち早く空調設備の設置を行いましたし、他の市町村に比べ早い段階

	<p>での改修を重ね、大変綺麗な校舎や校庭を維持することができているのも良いところだと考えています。</p> <p>さらには35人学級を、国や県に先駆けて小学校の全学年で実施しております。</p> <p>不足する教員については市費で賄っており、きめ細かな指導が行き届いているという面は、他の市町にも、誇れる部分ではないかと思っております。</p>
村松会長	ありがとうございます。他に御質問はございますでしょうか。
三宅委員	防犯カメラの設置について、個人宅にも補助するという説明がありました。この防犯カメラの設置については、市の中心部のみに設置していくのか、もしくは他の地域にも設置していくのか、その辺りで予算も変動します。安心して生活するということは大切なことであるため、お聞きします。
深谷総務部長	<p>防犯カメラ設置の目的は、犯罪の抑止です。犯罪が起こった場合の証拠能力として求められる部分もありますが、やはり第一義的には犯罪抑止力を重んじており、市内全域どこにでも防犯カメラがあるという状態が望ましいと私どもは考えております。</p> <p>これまで、行政区が設置するカメラについてのみ補助しておりましたが、行政区の予算には限りがあり、個人を対象を拡大することとしました。</p> <p>最近、新築住宅でも、個人で防犯カメラを設置される方が非常に増えております。そういったところに着目し、個人が防犯カメラを設置する際に、プライバシーの関係もあり映す位置等難しい部分はありますが、設置したカメラがどこについているのかが、画像を見たときに特定できるような範囲で、いわゆる公の空間、道路等を映していただくことを条件に、補助してまいります。</p> <p>これまで行政区が設置してこなかった地域に、少しでも多くのカメラが設置されることを目指し補助を出していくわけですが、市の予算にも当然限りがありますので、まずは補助制度を開始し、申請状況を見ながら、実際にどの程度の予算を確保すべきかを毎年考えていきたいと思っております。市としては、できるだけ多くの方にこの補助制度を利用していただき、安心して住めるまちを目指してきたいと考えております。</p>
村松会長	予算に限りがあるのであれば、警察と相談し、頻繁に事件が発生しそうな地域を優先的にまず整備して、広げていく方法もあるかもしれませんね。
深谷総務部長	犯罪発生率が高い地域から優先的にということは現在考えておらず、防犯カメラを設置したいという意思を持ち申請があった方に補助をしたいと考えております。当然、予算に限りはありますので、申請者全てに補助金が出せるかはわかりませんが、市民の方の防犯に対する意識をできるだけ高めていきたいと考えております。
村松会長	ありがとうございます。他に御質問はございますでしょうか。
野々山委員	58番「犬・猫避妊等手術費補助金」について。これまで多くの実績があり、補助を受けられた方も多いと思いますが、今回は飼い犬や飼い猫については補助を廃止し、地域ネコに限る補助に見直しをすと記載されています。これはどういった主旨で変更をされるのかお聞かせください。
成田環境経済部長	<p>飼い主がいる犬や猫の避妊去勢の補助金は、来年度から廃止しようと考えております。</p> <p>一方で地域ネコ、今地域の中で飼い主がいない猫についての環境問題が多く起こっていることから、今後は地域ネコに対する補助を拡充したいと考えております。</p> <p>個人が飼っている犬や猫については、飼い主によってペットとして管理されて</p>

	おり、飼い主が「飼いたい」という意思のもとで飼っているため、個人の責任の下で管理していただき、地域の環境に大きく影響を与えている地域ネコの補助の方に重点を置きたいと考えております。
野々山委員	地域ネコの補助金を拡充といっても、昔のように野良猫は多くありません。今回の補助金制度の見直しにあたっては、これまでの経緯等も踏まえて、市民にきちんと説明できるよう整理していただくと良いと思います。
村松会長	他に御質問はございますでしょうか。
鰐部職務代理	<p>商工会に対する補助金はたくさんいただいており本当にありがたいと考えております。しかし、イベント事業については、対象となる事業が新規事業に限られているため単年度限りでしか補助が受けられず、2年目や3年目に継続をすると補助を受けることができなくなります。</p> <p>以前実施していたイルミネーション事業についても、10年間程度実施していましたが、初年度の時に補助金をいただいた以降は補助を受けられず、最終の10回目は、別の箇所でイルミネーション事業を実施するという申請でようやく補助を受けることができました。</p> <p>そのような状況の中、現在も新しいイベントを考えていますが、単発で終わるのではなく継続して実施するイベントへの補助について、検討をしていただくことができるか否かについて、一度御回答をお願いしたいと考えております。</p>
成田環境経済部長	現段階において要綱の見直しについては考えておりませんが、継続することにより地域の活性化や経済の活性化に繋がり、効果が上がる事業であれば、検討していくべきと考えます。今後、商工会の皆様と協議をしながら検討していきます。
鰐部職務代理	<p>交通安全委員の手当について。以前は補助金が出ており、月額で毎月手当が支払われていたようですが、出勤したときの2時間分の手当のみが支払われる形に見直されたと聞いています。</p> <p>そしてその改正以降、花火大会等のイベント開催時等、長時間活動しても頭切りで2時間分にカットされているそうです。それはおかしいのではないかという意見を耳にしましたが、その辺りはどのように考えていらっしゃいますか。</p>
深谷総務部長	<p>交通委員については、以前は報酬という形で支払をしていたのですが、国の法律の改定により、会計年度任用職員という立場での雇用しかできなくなり支払方法を変えたという経緯がございます。</p> <p>職務代理者がおっしゃった時間上限でのカットについては申し訳ございませんが私も詳細に把握しておりません。</p> <p>一度調査ししっかり状況を把握した上で、適切でない部分がありましたら、そこは是正していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。</p>
村松会長	ありがとうございます。他に御質問はございますでしょうか。
増岡委員	<p>「64 認定農業者利用集積促進事業補助金」については、私も利用をさせていただいており、ありがたく考えております。</p> <p>最近、新規就農者が時々いらっしゃるのですが、「71 農業近代化資金利子補給事業補助金」での利子補助や「73地場産業振興事業補助金」での農機具の導入等補助については、次年度の要望を提出し、枠があれば購入できるという制度設計になっておりますが、農家としては、壊れたらすぐに欲しいというのが本音です。</p> <p>新規就農者等、農業の担い手の方に対する補助金や補助制度があればお願いしたいです。</p>

成田環境経済部長	<p>農業の担い手や新規就農者に対する支援については市としても重要であると考えております。しかしながら、現行制度のみで対応している状況でもあります。今後、いただいた意見等を踏まえて支援制度を検討していきたいと考えております。</p>
増岡委員	<p>農業で使う肥料や飼料に要する費用について、私は白菜を作っておりますが、最近著しく金額が高騰しております。</p> <p>以前も産業課にはお願いをさせていただきましたが、恐らく果樹でも肥料の高騰の影響の状況は同様であると思われまます。少しでも多くの補助をいただけるとありがたいです。</p>
成田環境経済部長	<p>増岡委員からいただきました御意見については、本市においても肥料費用への支援をしようとプランを考えている最中ですのでよろしくお願ひいたします。</p>
村松会長	<p>その内容については、国も相当本腰を入れようとしているようですが、市の予算も投入するのですね。</p>
成田環境経済部長	<p>はい。その通りです。国も予算化しており、県も国補助に上乘せをし、予算化されておりますが、市においてもさらなる補助を検討しています。</p>
清水政策推進部長	<p>肥料に対する補助については、国から地方創生臨時交付金が配分されており、農家の皆様方への肥料や飼料に対する助成を強化するよう通知がされております。ただいま環境経済部長が申し上げた通りしっかり検討して、物価高騰で困っている方に対し、できる限り助成をしていきたいと考えておりますので御理解いただければと思います。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。他に御質問はございますでしょうか。</p>
小玉委員	<p>ゼロカーボン推進室についてお伺いします。</p> <p>カーボンニュートラルについては、2030年にCO<sub>2</sub>を46%削減するという目標であり、かなり厳しい目標であると我々は考えております。</p> <p>この達成には民間投資の活性化が必要だと思っておりますが、どのタイミングでするといいのかが本当に悩ましいという問題があります。そこに合わせてこうした支援と連携して取り組んでいくと一番良いのだと思います。</p> <p>足元では仕入先の事業者が数百社ありますが、今一番の悩みは、いつ業態を変換したら良いのかということだと思っております。最近賃金も上がっておらず、価格に転嫁もできない状況です。</p> <p>ゼロカーボン推進室で現在検討している補助金についてはどのようなものがあるのか、御教示いただければと思います。</p>
成田環境経済部長	<p>本市においては、2050年のゼロカーボンシティに向けた取組を行っている最中であり、再生可能エネルギーの賦存量調査やエネルギーの需要量調査を本年度実施しています。</p> <p>その調査の結果を踏まえて、どの事業モデルが良いか、採算性がとれるかという検討を行い、令和6年度に本市に特化したゼロカーボンシティ計画を策定し、それに基づいて、2050年に二酸化炭素の排出量実質ゼロに向け取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>また、補助メニューについては、市民の皆様に対する「エコエネルギー補助金」を整備しております。太陽光パネルや蓄電池、HEMSなどの様々な種類を設けて事業を実施しております。FIT制度もこれまで10キロ未満だったものが50キロ未満に拡大されたこともありますので、太陽光パネルについても最大50キロまで拡大する方向で現在検討しています。まずは市民の方が取組しやすい補助制度に来年度から改定する予定で考えております。</p>

野々山委員	<p>「108 少年少女発明クラブ補助金」について。 見直し結果欄に「今後のあり方の検討を行う」という記述がありますが、このクラブ自体の活動内容が分かりにくい状況にあります。活動内容が分からないと補助金を出すのにふさわしい団体か否か判断が難しいでしょうし、先般新聞報道で豊田市の発明クラブに関する報道がなされていました。 そのような中で今後の検討含め、クラブの現状と今後の検討についてお伺いしたいと思います。</p>
新美教育部参事	<p>少年少女発明クラブの補助金につきましては、活動ができる場所や資材費に対して補助をしております。 活動につきましては、年度当初に年間計画を提出いただき、各学校を通して、児童生徒及び保護者の方に周知をしながら活動しているところであります。 現在、コロナの関係でちょっと活動が縮小されてる部分もありますが、徐々にまた元のように活動ができるようにしている状況であり、サポートしていきたいというふうに考えているところでございます。</p>
野々山委員	<p>発明については、日本は世界に比べ遅れています。やはり小さい頃から発明の活動をされるのは大事だと思うので、進めていただきたいと思います。 また、市民の方に知っていただく機会も作っていただけたら良いと思います。</p>
小玉委員	<p>発明クラブについては、豊田と刈谷の発明クラブの評議員として弊社から人を出しておりますので、少し御紹介させていただきます。 本当に、まずはPRをしっかりしていただくことは重要であり、豊田市では今、入会待ちの子供達が多くいるような状況で、大変活性化しています。今年は特許申請に力を入れ、7件ほど実用新案での提案をさせていただきました まさに発明とかものづくりを広げる活動を中心に行われています。 豊田市には保見地区にも教室があり、教室が大変不足していることが一つの悩みとなっています。 講師も異なる市であると難しい部分もあるのかもしれませんが、もう少し広域な活動ができれば、子供たちにとっても良い状況であり、その辺りも連携している御相談させてもらえればと思います。 弊社でも多くのボランティアを出していますので、そういった分野でも違う分野でも、また連携できればということかなと考えております。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。他に御質問はございますでしょうか。</p>
三宅委員	<p>「131 郷土史誌編さん事業補助金」について。郷土史誌はぜひ作っていただきたいですが、一般に販売するような書籍かどうか、お伺いしたいです。</p>
今瀬教育長	<p>郷土史誌を販売しているかどうかは把握しておりませんが、事業の成果があったので二つの補助金を統合しております。</p>
深谷総務部長	<p>以前、教育行政課に所属していた際に若干お聞きした程度ではありますが、郷土史誌は各行政区（いわゆる自治区や自治会といった組織）が郷土史誌を編纂する場合に市から補助金を出すというものです。 編集執筆にかかる作業が複数年にまたがることが多く、編纂と印刷を行うことに対する助成となっております。 この事業に対しては、区費もある程度使っていると思うのですが、編纂には多額の費用がかかるため、市が補助をしています。 私が知っている限りでは、郷土史誌を販売してるということを聞いたことはありません。恐らく部数もそんなに多く作られるわけではなく、例えば区民全戸に配っているという行政区があるか否かも把握はしておりませんが、基本的には販売を目的に作られているものではないと認識しております。</p>



三宅委員	郷土史誌は市全体のものではないのですね。
深谷総務部長	はい。この補助金については、行政区が作る郷土史誌に対する補助金であり、これまでもいくつかの行政区にこの補助金を使っていただいています。
久野委員	<p>私の地元の新屋行政区では、「新屋の歩み」という、かなり分厚い何百ページもあるものを過去に作っており、恐らくこの補助金を活用させていただいていると思います。</p> <p>新屋につきましては、全戸に配布をいたしました。非売品であり、全戸配布が終わった後、若干の予備的な冊子は、転入者の人にお渡ししております。</p> <p>私は以前この仕事に携わっており、新屋の他にも、黒笹、明知上、下、東山において、それぞれ行政区単位で、行政区の歩みを作っています。</p> <p>市の歴史については、町誌として以前作っており、すでに完成しています。</p>
村松会長	他に御質問はございますでしょうか。
鈴木委員	<p>「143 カヌー競技全国大会実行委員会補助金」について。</p> <p>見直し内容の欄に「自主財源が確保できるため補助率を3分の1、限度額を400万円に見直す」と記載されていますが、自主財源とはカヌー団体からの財源ということでしょうか。</p> <p>他の地域の方にみよし市の紹介をする際「カヌーのまち」と紹介をされており、以前は国際大会も開催されておりました。つい先日も全国大会を開催していましたが、私の周囲では大会を開催していることすら知らない状況であり、また、報道等もされておられません。恐らく一般市民への周知が不足しているものと思われるます。</p> <p>自主財源が確保できるから補助金を縮小するのではなく、事業自体を拡大していくという考えはないのでしょうか。市として今後どのように進めていくのかという点をおたずねします。</p>
村松会長	それでは御回答をお願いします。
富田教育部長	<p>これまで10分の10補助として、市が大会を誘致するような形で開催をさせていただき、長年続けてまいりました。</p> <p>全国大会については日本カヌー連盟の主催であり、その下に愛知県カヌー協会、みよし市カヌー協会という組織がございます。今回の見直しに際しては日本カヌー連盟と県協会と調整をしております。</p> <p>カヌーの全国大会について、市民のPRが足りないという御意見については、確かにおっしゃる通りの部分もございますが、マイナー競技であり、報道機関に取り上げていただけないことも悩みの一つです。</p> <p>今後のカヌーの振興については、市内中学校にカヌー部もございますので、引き続き進めてまいりたいと考えています。</p>
村松会長	<p>みよし市には立派なカヌーのコースがございます。</p> <p>以前、愛知大学がみよし市にあった際にはカヌー部が練習場所として利用させていただきました。</p> <p>カヌーはマイナースポーツではありますが、コースを維持されているわけですから、宝の持ち腐れにならないよう利用していく必要があります。オリンピック競技にもなっておりますし、今後も振興を続けていただき、みよし市を世界に知ってもらえると良いと思います。</p> <p>他に御質問はありませんか。</p>
増岡委員	<p>農業委員としてお願いをさせていただきたいです。</p> <p>最近、農業従事者がだんだん高齢化し辞めていかれることで、農地を農業法人</p>

	<p>等が管理している農地が増えています。</p> <p>通常、田は1区画20m×50mで面積が1,000㎡ですが、私が以前士別市へ視察に行ったときは1区画200m×500m=10,000㎡ととても大規模なものでした。</p> <p>本市の農業法人としても、田を広げ大きな機械を利用することで効率よく稲作を行うことができます。何とか田を広くする助成を検討していただきたいと考えています。</p>
成田環境経済部長	<p>増岡委員の意見については、農業団体や地権者等様々な関係者に御意見をお聞きした上で、検討を進めてまいりたいと考えています。</p>
村松会長	<p>ありがとうございます。他にはよろしいですか。</p> <p>それでは特に無いようですので、進行を事務局にお返しいたします。</p>
典 礼 海堀課長	<p>本日は長時間にわたり大変お疲れ様でした。</p> <p>本年度については、行政改革アクションプランに基づく4年に1度の補助金見直しを行う主旨で委員会を開催いたしました。</p> <p>来年度については、受益者負担の見直しを予定しております。</p> <p>本来であれば、来年度に入ってから方針を決定し進めていたところではございますが、今回は前倒しをして検討を進めたいと考えております。従いまして、本年度末の1月から2月頃に第3回推進委員会を開催する予定をしております。</p> <p>会議の日程については決定次第、改めて事務局から御連絡をさせていただきます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、「令和4年度第2回行政改革推進委員会」を終了いたします。</p> <p>御起立をお願いします。一同礼 ありがとうございます。</p> <p><b>【閉会】</b></p>